

まえがき

「2020年度学生生活実態調査報告書」を刊行いたしました。

この報告書は、2020年9月から10月にかけて実施した調査を統計的に処理して分析し、その結果を概要やグラフおよび基礎集計表にまとめています。

この調査の目的は本学学生の生活実態を把握することであり、また学生の修学状況、課外活動やボランティア活動の実態、学生の福利厚生に関する基礎資料を作成し、経年的に比較することで、学生の教学面、生活面をサポートするための施策を迅速に立案実施するためには欠かせないものと考えております。

今年度は「特別テーマ」（4ページ「調査概要」参照）の年にあたり、基本的な調査項目を残しつつ、「奨学金」「ボランティア」「スポーツ」「大学生活でのマナー・モラル・トラブル」等の大学生活での活動に焦点を当てた項目を中心に盛り込みました。この結果、より正確に本学学生の学生像を把握できるようになったと考えております。

特に、本年度はコロナ禍の影響と思われる学生生活への不安、課外活動やボランティア活動などの学生の自主的な活動に対する不満、遠隔授業に伴うさまざまな学習機会の制限に対する大学への意見など、例年になく影響がアンケート結果や自由記述欄からも読み取ることができます。この報告書をご参考いただき、次年度以降における感染症対策に関わる施策にもご活用いただければ幸いです。

最後に、社会全体のグローバル化や情報技術の急速な進歩により、学生のニーズが変化するスピードは非常に速くなってきており、学生の多様化を実感いたします。そのような状況の下、本調査結果のみでは学生の意識を判断できかねる面もあり、今後更なる調査内容・方法を検討する必要性を痛感しています。

2021年3月31日

関西大学 学生センター所長
松村 吉信